

吉名町の「すてき」を伝えよう ～「とび出せ! 町のたんけんたい」「もっと知りたい たんけんたい」「町のすてき つたえたい」～

1 単元のデザイン

本単元の目標

町探検をして町の「すてき」を見付けたり、それらを伝える活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いている人々について考えたり、伝える相手を想像して伝える内容や方法を選んだりすることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることを理解し、それらに親しみをもち、適切に接しようとするようにできるようにする。

単元について

本単元は、学習指導要領の内容(3)「地域と生活」及び(8)「生活や出来事の伝え合い」を受けて設定したものである。

本単元の主な活動は町探検と町の「すてき」を伝えることである。町探検は、「気になる」「行ってみたい」という児童の思いを基に自分たちで行き先を決めることで、課題を発見する力・企画する力を育てることができる。また、町の「すてき」を伝えることで、発想する力・工夫する力、表現する力を育てることができる。

本単元の主な教材は「吉名町の様々な場所や人」である。本校の校区は海と山に囲まれ自然が豊かであるとともに、駅や公民館、小規模の商店、農場や工場など様々な場所がある。そのため、児童の多様な興味・関心に応じて、児童の思いに基づいた学習が展開できる。また、身近な場所であるため繰り返し関わることができ、新たな疑問をもった際、それを解決するために再び取材に行ったり、何度も関わるうちに親しみをもちたりすることができる。

SDGsの視点：11 住み続けられるまちづくりを

町探検を通して、自分たちが住む町を見つめ直すことは、地域のよさや課題を知ることにつながる。本単元を通して、町のよさは生かしつつ、課題を解決していき、住みやすい町にしていこうとする姿になることが期待できる。

児童生徒の実態

本学級の児童は、「吉名町が好きですか」という質問に対して100%の児童が肯定的に答えている。しかし、吉名町のよいところを問うと、全ての児童が複数の場所を挙げることはできなかったが、人に着目することができていない。また、児童が挙げた場所の理由を見ても「買い物ができる」等の一般的なものに留まり、その場所ならではの理由を挙げることはできたのは27%の児童だけだった。このことから、吉名町のことは好きだが、よさについての理解は浅いものに留まっていると考えられる。

また、「失敗を恐れずに挑戦している」という質問に対して90%以上の児童が肯定的に回答している。普段の授業でも本学級の児童は積極的に活動に取り組んでいる。このことから、挑戦する力・やり遂げる力は高いと考えられる。さらに、ICT活用力についても、日常的にJam board やカメラ機能等を活用しているため高いと考えられる。

ただし、プレゼンテーション力については、「分かりやすく話すことができる」に対する肯定的回答の割合は他の質問と比較すると低く、普段の授業でも、発表ができない、話型から抜け出せない、伝えたいことを強調する工夫ができていない等の様子が見られることから、低いと考えられる。

指導の工夫

(1) プロジェクト型学習

児童が本気になる課題設定、行動指針に基づく挑戦となるように、児童の思いを基に探検する場所や伝え方を決めるという自己決定の場を設定する。また、他校の2年生に向けて見つけた吉名町の「すてき」を伝えるという「実の場」を設定する。

失敗や困難と出合わせ、再挑戦の場となるように、1回目の町探検で見つけた「すてき」を出し合う場面で、クラゲ・チャートに「すてき」を載せても足の部分が埋まらない、出てきた「すてき」が一般的なものに留まっていることを指摘し、自分たちが詳しく探検先で情報収集ができていないことに気付かせ、目的意識をもって2回目以降の町探検に向かうことができるようにする。

(2) ICT活用

本単元では、主に一斉と協働の場面でICTを活用する。一斉の場面での具体的な活用は、活動の想起とオンライン会議を活用した他校との交流である。協働の場面での具体的な活用は、吉名町の「すてき」を紹介するためのプレゼンテーション資料等の作成である。

(3) シンキングツールの活用

本単元では、主に次のシンキングツールを活用する。

- ① ウェビング……単元導入時に吉名町の「すてき」について考えを広げるために使う。また、単元末でも再度ウェビングで吉名町の「すてき」について考えを書かせ、考えの広がりや深まりを実感できるようにする。
- ② クラゲ・チャート……自分たちが見つけた探検先の「すてき」を整理する。

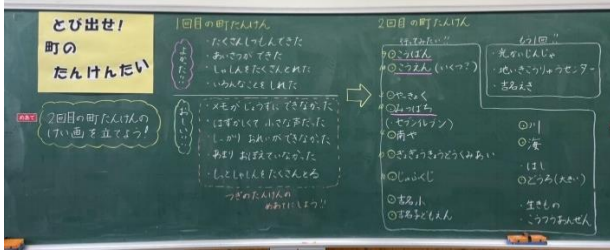
2 単元の評価規準及びルーブリック

評価の観点		S (期待以上)	A (十分満足できる)	B (概ね満足できる)	C (努力を要する)
(1) 知識・技能	ア 知識	自分たちの生活は様々な人や場所が関わっていることで成立していること、また、それらも相互に関わっていることに気付いている。	自分たちの生活は様々な人や場所が関わっていることで成立していることに気付いている。	自分たちの生活は様々な人や場所が関わっていることに気付いている。	自分たちの生活は様々な人や場所が関わっていることに気付いていない。
	イ 技能	(7) 訪問や依頼の仕方を理解して実践したり、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたりしている。 <u>(1) デジタルカメラ等を使って、注目させたいものをアップで撮る等、目的に応じて写真の撮り方を考えて撮影し、撮影した写真を使って話すことができる。</u>	(7) 訪問や依頼の仕方を理解したり、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしたりしている。 <u>(1) デジタルカメラ等を使って撮影し、撮影した写真を基に話すことができる。</u>	(7) 相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしている。 <u>(1) デジタルカメラ等を使って写真を撮影することができる。</u>	(7) 相手や場に応じた挨拶や言葉遣いをしていない。 <u>(1) デジタルカメラ等を使った写真撮影ができない。</u>
(2) 思考・判断・表現	ウ 課題を発見する力 企画する力	地域の場所や身近な人と直接関わる中で、多くの気付きや疑問を見付け、その中から自分自身で追究したいことを選択・決定している。	地域の場所や身近な人と直接関わる中で、多くの気付きや疑問を見付けている。	地域の場所や身近な人と直接関わる中で、気付きや疑問を見付けている。	地域の場所や身近な人と直接関わっても、気付きや疑問を見付けられていない。
	エ 活動を計画・推進する力	行きたい場所や会ってみたい人を思い描きながら、自分の力で詳細な計画を立てている。	行きたい場所や会ってみたい人を思い描きながら、自分の力で大まかな計画を立てている。	行きたい場所や会ってみたい人を思い描きながら、教師の助言を受けて計画を立てている。	行きたい場所や会ってみたい人を思い描けない。また、教師の助言があっても計画が立てられない。
	オ 情報を収集する力	事前に考えたことだけでなく、その場で思い付いた調べたいことや質問したいことを基に、訪れた場所を観察したり、地域の方にインタビューしたりして、より深く情報を集めている。	事前に考えた調べたいことや質問したいことを基に、訪れた場所を観察したり、地域の方にインタビューしたりして、情報を集めている。	訪れた場所を観察したり、地域の方にインタビューをしたりして、情報を集めている。	訪れた場所を観察したり、地域の方にインタビューをしたりすることができない。
	カ 整理・分析する力	相手を思い描き、伝えたときの反応を想定しながら、集めた地域の場所や人の「すてき」を順序付け、伝えたらよいと思うものを選んでいく。	相手を思い描きながら、集めた地域の場所や人の「すてき」を順序付け、伝えたらよいと思うものを選んでいく。	相手を思い描きながら、集めた地域の場所や人の「すてき」を比較し、伝えたらよいと思うものを選んでいく。	自分が伝えたらよいと思うものを選んでいない。相手のことを考えていない。
	キ 表現する力	<u>自分の伝えたい内容について、自分で話の構成を考え、3～5程度の文章を覚え、実物や写真を見せたり、身振り手振りを加えたり、抑揚をつけたりしながら話している。</u>	<u>自分の伝えたい内容について、教師の示したフォーマットを参考に、3～5程度の文章を覚え、実物や写真を見せたり、身振り手振りを加えたり、抑揚をつけたりしながら話している。</u>	<u>自分の伝えたい内容について、教師の示したフォーマットを参考に、3～5程度の文章を覚え、実物や写真を見せながら話している。</u>	教師からフォーマットを示されても発表原稿を書くことができない。また発表原稿を与えられても、うまく話すことができない。
	ク 発想する力 工夫する力	相手や目的に応じて、伝え方を選び、相手や伝え方の工夫の効果を考えながら伝え方を工夫している。	相手や目的に応じて、伝え方を選び、相手のことを思い浮かべながら伝え方を工夫している。	相手や目的に応じて、伝え方を選んでいく。	相手や目的に応じた伝え方を選べない。
	ケ 評価する力	お互いの発表や制作物に対し、感想をもつとともに良い点や改善点などを考えている。	お互いの発表や制作物に対し、感想をもつとともに、良い点を考えている。	お互いの発表や制作物に対し、感想をもっている。	お互いの発表や制作物に対し、感想をもてない。
(3) 主体的に学習に取り組む態度	コ 挑戦する力 やり遂げる力 (主体性)	地域の場所や人々に対する関心や期待をもちながら、それらと繰り返し関わろうとするとともに、失敗したり困難に出合ったりしても、進んで改善を図り、最後までやり遂げようとしている。	地域の場所や人々に対する関心や期待をもちながら、それらと繰り返し関わろうとするとともに、失敗したり困難に出合ったりしても、最後までやり遂げようとしている。	地域の場所や人々に対する関心や期待をもちながら、それらと繰り返し関わろうとしている。	地域の場所や人々に関わろうとしていない。
	サ 協働する力 (協調性)	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら、よりよい解決方法を目指して活動を進めようとしている。	相手意識をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えに共感したりしながら活動を進めようとしている。	相手に自分の考えを伝えたり、相手の考えを聞いたりしながら、協力して活動を進めようとしている。	自分の考えを伝えず、また相手の考えも聞いていない。
	シ 将来を設計する力	活動を振り返る中で、地域の場所や人々への親しみや愛着をもって、それらのよさを大切にしようとするともに、自分ができるようになったことに気付き、今後の目標を具体的に見出している。	活動を振り返る中で、地域の場所や人々への親しみや愛着をもって、それらのよさを大切にしようとするともに、自分ができるようになったことに気付いている。	活動を振り返る中で、地域の場所や人々への親しみや愛着をもって、それらのよさを大切にしようとするともに、自分ができるようになったことに気付いている。	地域の場所や人々への親しみや愛着をもてない。自分ができるようになったことに気付いていない。

※下線の付いた評価規準は生活科で育成を目指す資質・能力と「YOSHINA 未来学」で育成を目指す資質・能力と重ならないものである。したがって、記録に残す評価はせず、指導に生かす評価のみとする。

3 指導と評価の計画（全 34 時間）

時	学習活動	他校の2年生に吉名の「すてき」を伝えよう	ICT活用	シンキングツール	評価規準 (評価方法)
1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> ●自分たちの「行ってみたい」「気になる」という思いを基に町探検の計画を立てる。 ・地域の写真を見て、行ってみたい場所を決める。 ・行ってみたい場所ごとにグループを作り、探検の計画を立てたり、質問内容を考えたりする。 		一斉	ウェビング	(2)ウ (2)エ (ワークシート)
3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> ●1回目の町探検を行う。 ・グループごとに計画に沿って1回目の町探検を行う。その際、気になったものをデジタルカメラで写真に撮ったり、見つけたことや聞いたことを絵や文で記録カードにかいたりする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">見学先でのインタビュー</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">気になるものを撮影</p>		個別		(1)イ(1) (2)オ (3)コ (行動観察, ワークシート, 振り返り)
5 ・ 7	<ul style="list-style-type: none"> ●町探検で見つけたことや聞いたことを交流し、マップにまとめる。 ・町探検で見つけたことや聞いたことを、写真を提示しながらグループごとに発表する。 ・見つけたことや聞いたことをふせんに書き出して整理したり、撮影した写真や気付きをマップに貼り付けたりして、町探検マップを作る。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目の町探検を振り返る。 		協働		(3)サ (行動観察)



- 2・3回目の町探検の計画を立てる。
- ・他校の2年生に吉名町の「すてき」を伝えようという新たな課題を設定する。
- ・探検先の「すてき」が少ない、一般的なものに留まっている、本当か分からない等の教師からの指摘を受け、1回目の町探検の情報収集では「すてき」を伝えられないことに気付く。



8
く
10

④ 町たんけんの計画を立てよう。

自分の考え	みつばち	たつみしょう店
おのおのの考えの中に何か入っている。	おいかしは必ずほかの	自分たちで探検してはじめて
	二つりでお店をしらべ	せがれがやっている
友だちの考え	みつばち	たつみしょう店
どれが「ーばんうれお	なんでほしめた	
ほかのお店とちがうではお		
フースは手作り?		

明日のたんけん
たんけん!

ふりかえり(④)かた、④んばつた、④もだちのよかつた、④つ(つぎに)やりたい

みつばちはいふことないり自分の考えを
自分のでみつばちのことがよくわかった。
11月1日の3時間にサソリをたたく
ときたいです




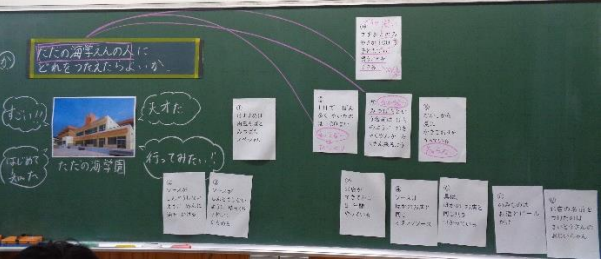
- ・探検先の「すてき」を見付けるとい目的意識をもって予想したり、疑問に思うことを考えたりして、2・3回目の探検の計画を立てる。

他校の2年生に吉名の「すてき」を伝えよう

一斉

クラゲ・チャート

(2)ウ
(2)エ
(行動観察、
ワークシート、
振り返り)

<p>11 ・ 12</p>	<p>● 2回目の町探検を行う。 ・ 町探検で観察やインタビューを行い、探検先で「すてき」を見付けたり、疑問を解決したりする。</p>  <p>おすすめは何ですか。</p> <p>ソースは手作りですか。</p> <p>新しい場所（お好み焼き屋）でのインタビュー</p>  <p>75年も続けられたのはなぜですか。</p> <p>分からなかったことを再度インタビュー</p>	<p>他校の2年生に吉名の「すてき」を伝えよう</p>	<p>個別</p>		<p>(1)イ(7) <u>(1)イ(4)</u> (2)オ (3)コ (行動観察, ワークシート, 振り返り)</p>
<p>13</p>	<p>● 2回目の町探検で見付けた「すてき」の中から伝える内容を選ぶ。 ・ プレゼンテーション資料には多くの情報を載せられないことを知り、集めた探検先の「すてき」の中から、伝えたらよいものを選ぶ。</p>  <p>どれも「すてき」だから伝えたい。</p> <p>調べたこと全部が「すてき」だから選べない。</p>  <p>どのことを伝えたらよいのかな。</p> <p>忠海学園の人が知らないこと、びっくりすることがいいよね。</p> 		<p>協働</p>	<p>ピラミッド・チャート</p>	<p>(2)カ (行動観察, ワークシート)</p>

